

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場取引所 大

上場会社名 オリコン株式会社

 コード番号 4800 URL <http://www.oricon.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小池 恒

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企業広報部長 (氏名) 日高輝明

TEL 03-3405-5252

四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,630	△0.5	231	△7.2	203	△11.2	113	△24.7
23年3月期第1四半期	1,639	27.7	249	114.7	229	83.3	151	109.9

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 117百万円 (△21.2%) 23年3月期第1四半期 149百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	721.84	—
23年3月期第1四半期	967.30	958.82

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	5,261	2,157	34.8
23年3月期	5,060	2,169	36.5

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 1,830百万円 23年3月期 1,847百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	800.00	800.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	800.00	800.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,340	0.3	460	△19.7	410	△25.2	230	△37.2	1,456.15
通期	7,060	4.0	1,250	2.3	1,160	1.2	660	△17.1	4,178.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	157,950 株	23年3月期	157,950 株
24年3月期1Q	100 株	23年3月期	— 株
24年3月期1Q	157,913 株	23年3月期1Q	156,438 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載している業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する情報	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年6月30日)におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響が色濃く残るなか、国内の一部の生産活動に持ち直しの動きが出始めたものの、電力供給への不安や円高の長期化などにより、先行き不透明な状況で推移しました。一方、情報通信の分野においては、通信キャリア各社より夏モデルとしてスマートフォンの新製品が次々と販売開始になり、スマートフォン市場が急速に拡大しました。

このような状況下、当社グループでは、スマートフォンへの対応を積極的に推進し、先行投資を行いました。一方、東日本大震災の影響で、広告販売において一時的な影響を受けました。

当第1四半期連結累計期間において実施した主なスマートフォン対応は、次の通りであります。

1. 音楽配信サービス(「オリコンスタイル」アプリ)

Android[®] 携帯電話向けの音楽配信サービスについては、対応端末を増やすとともに、配信可能楽曲の充実を図りました。さらに、平成23年6月23日に株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモより発売されたサムスン電子株式会社製の新機種「GALAXY S II (SC-02C)」に「オリコンスタイル」アプリが初期搭載(プリインストール)されました。

2. 「オリコンアプリランキング」

平成23年6月17日よりソフトバンクモバイル株式会社が運営するアプリ紹介アプリ「@アプリ」にコンテンツとして提供を開始するなど、「オリコンアプリランキング」の利用促進を図りました。「オリコンアプリランキング」を経由してスマートフォンにダウンロードされるアプリの数が、月間で40万個を超える水準になりました。アプリのダウンロードをさらに促進させ、かつ広告売上を伸ばすため、ダウンロードによってポイント(広告商品として販売)がユーザーに付与される仕組みを導入するなど、大幅なリニューアルを行うべく、システム開発などの準備を進めました。(平成23年7月27日にリニューアル済み。)

3. 一般向け週刊エンタテインメント誌「オリ★スタ」のアプリ

「オリ★スタ」アプリの無料提供を、平成23年6月17日にAndroid携帯電話向けに開始しました。ユーザーは、「オリ★スタ」アプリで写真や記事を見て、「雑誌を買いたい」と思ったら、「ワンタップ」でネット通販サイトに誘導され、そのまま手軽に雑誌を購入することができます。インターネット上で無料で情報開示し、有料購入に誘導するいわゆる「フリーミアム」戦略です。

当第1四半期連結累計期間の報告セグメントごとの状況は、以下の通りであります。

①WEB事業

東日本大震災によって、4月、5月に予定されていたキャンペーン企画が延期もしくは中止になった影響により、タイアップ型広告とバナー広告の販売において一時的な機会損失として15百万円が発生しました。一方、顧客満足度(CS)ランキング連動型広告については堅調に推移しており、6月より2ジャンル追加したことも奏功し、クライアント契約している社数が6月度に初めて100社を超え、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期と比べ12.2%増加しました。また、携帯電話向けのゲームやきせかえコンテンツ等の制作受託についても、SNSサイト運営会社へのゲームの販売が好調でした。

以上の結果、WEB事業全体の当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比28百万円増(12.8%増)の251百万円、セグメント利益は前年同期比8百万円増(13.5%増)の68百万円となりました。

②モバイル事業

着信メロディと着うた[※]については、市場全体の縮小に伴って、退会者数が入会者数を上回って推移し、それぞれの売上高は、前年同期と比べ、着信メロディが21百万円減(17.4%減)、着うたが28百万円減(20.9%減)となりました。一方、着うたフル[※]については、新規の会員獲得が進み、売上高は、前年同期と比べて13百万円増(2.1%増)と微増となり、直前の四半期(平成23年3月期第4四半期)と比べてほぼ同額となりました。また、スマートフォン関連のサービスについては、売上高は2百万円に留まり、費用が先行する状況で推移しました。

以上の結果、モバイル事業全体の当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比37百万円減(4.0%減)の891百万円、セグメント利益は前年同期比31百万円減(9.8%減)の293百万円となりました。

③雑誌事業

現在、一般向け週刊エンタテインメント誌「オリ★スタ」、オーディション情報誌「月刊デ・ビュー」、エンタテインメント業界向けビジネスマガジン「ORIGINAL CONFIDENCE」の3誌を発行していますが、雑誌広告市況が低迷している影響を受け、広告出稿が前年同期と比べて減少し、当第1四半期連結累計期間の雑誌事業全体の売上高は前年同期比10百万円減(3.2%減)の317百万円、セグメント利益は前年同期比20百万円減(23.1%減)の66百万円となりました。

一般向け週刊エンタテインメント誌「オリ★スタ」については、誌面の充実を継続的に行っていることなどが奏功して購読部数を伸ばし、当雑誌の購読売上は前年同期と比べ、7.5%増加しました。

④データサービス事業

データサービス事業は、①音楽データベース提供サービス(放送局向け及びEコマースサイト向け)とランキング情報などの販売(マスコミ向け)、②音楽ソフト・映像ソフト・書籍のマーケティングデータを提供するオンラインサービス「ORICON BiZ online」で構成されています。

当第1四半期連結累計期間においては、前年同期に不振だった放送局へのランキング情報などの販売が回復しました。また、「ORICON BiZ online」についても、メニュー追加等による契約単価のアップを図ったことが奏功し、その売上高は前年同期と比べて6.6%増加しました。

以上の結果、データサービス事業全体の当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比13百万円増(8.4%増)の169百万円、セグメント利益は前年同期比11百万円増(28.3%増)の54百万円となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績については、売上高は前年同期比8,411千円減(0.5%減)の1,630,912千円、営業利益は前年同期比17,914千円減(7.2%減)の231,976千円、経常利益は前年同期比25,663千円減(11.2%減)の203,986千円となりました。営業利益の減少額より経常利益の減少額が大きくなった主な要因は、支払利息の額は前年同期と比べ減少したものの、前年同期には発生しなかった一時的なコンサルティングに関わる費用が当第1四半期連結累計期間において発生するなど、営業外費用が前年同期と比べ増加したためであります。四半期純利益については、前年同期比37,334百万円減(24.7%減)の113,987千円を計上しました。経常利益の減少率より四半期純利益の減少率が大きくなった主な要因は、前年同期には税効果会計の適用により、税務上発生した繰越欠損金が税金費用を抑えていましたが、前連結会計年度末において課税所得と相殺可能な繰越欠損金がなくなり、当第1四半期連結累計期間においては税金費用が法定実効税率並みになったためであります。

※Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です。

※着うた、着うたフルは、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は5,261,844千円となり、前連結会計年度末と比べ、201,388千円増加しましたが、現金及び預金が425,159千円増加したことが、主な変動要因であります。負債合計は3,104,357千円となり、前連結会計年度末と比べ、213,379千円増加しましたが、短期借入金が350,000千円増加したことが、主な変動要因であります。純資産合計は2,157,486千円となり、前連結会計年度末と比べ11,990千円減少しましたが、これは四半期純利益113,987千円を計上したものの、配当金126,360千円の支払があったためであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第1四半期の連結業績については、概ね当初計画に沿って進捗しており、現時点における今後の見通しについても当初計画から大きく乖離するものではないため、平成23年5月9日に公表した第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想の数値に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	760,991	1,186,150
受取手形及び売掛金	1,352,224	1,263,302
商品及び製品	8,637	8,071
仕掛品	18,678	20,360
その他	682,174	546,248
貸倒引当金	△20,184	△19,651
流動資産合計	2,802,520	3,004,482
固定資産		
有形固定資産	315,891	313,079
無形固定資産		
のれん	643,836	632,153
ソフトウェア	359,298	351,324
その他	3,209	3,209
無形固定資産合計	1,006,343	986,688
投資その他の資産		
投資有価証券	343,192	335,906
その他	606,310	636,560
貸倒引当金	△19,832	△19,969
投資その他の資産合計	929,670	952,497
固定資産合計	2,251,905	2,252,264
繰延資産	6,029	5,096
資産合計	5,060,456	5,261,844
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	312,416	294,440
短期借入金	100,000	450,000
1年内返済予定の長期借入金	460,936	527,472
1年内償還予定の社債	96,000	96,000
未払法人税等	230,105	18,649
返品調整引当金	14,185	19,462
その他	579,853	605,399
流動負債合計	1,793,496	2,011,423
固定負債		
社債	274,000	244,000
長期借入金	823,482	848,934
固定負債合計	1,097,482	1,092,934
負債合計	2,890,978	3,104,357

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,090,916	1,090,916
資本剰余金	12,799	12,799
利益剰余金	761,469	749,097
自己株式	—	△4,560
株主資本合計	1,865,185	1,848,252
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△17,234	△17,894
その他の包括利益累計額合計	△17,234	△17,894
新株予約権	△5,267	△4,086
少数株主持分	326,793	331,214
純資産合計	2,169,477	2,157,486
負債純資産合計	5,060,456	5,261,844

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	1,639,323	1,630,912
売上原価	975,097	965,145
売上総利益	664,226	665,767
返品調整引当金戻入額	11,155	14,185
返品調整引当金繰入額	12,584	19,462
差引売上総利益	662,797	660,490
販売費及び一般管理費	412,906	428,513
営業利益	249,890	231,976
営業外収益		
受取利息	848	871
受取家賃	2,370	2,370
その他	2,517	593
営業外収益合計	5,735	3,834
営業外費用		
支払利息	12,491	10,839
支払手数料	6,165	8,273
株式関連費	4,272	4,745
その他	3,047	7,966
営業外費用合計	25,976	31,825
経常利益	229,649	203,986
特別利益		
貸倒引当金戻入額	261	—
新株予約権戻入益	—	3,096
特別利益合計	261	3,096
特別損失		
固定資産除却損	—	285
投資有価証券評価損	—	378
その他	—	238
特別損失合計	—	902
税金等調整前四半期純利益	229,910	206,180
法人税、住民税及び事業税	66,097	15,190
法人税等調整額	10,149	72,580
法人税等合計	76,246	87,770
少数株主損益調整前四半期純利益	153,664	118,409
少数株主利益	2,341	4,421
四半期純利益	151,322	113,987

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	153,664	118,409
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,285	△659
その他の包括利益合計	△4,285	△659
四半期包括利益	149,378	117,749
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	147,036	113,327
少数株主に係る四半期包括利益	2,341	4,421

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	WEB	モバイル	雑誌	データ サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	223,170	928,666	328,555	156,243	1,636,635	2,688	1,639,323
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,090	2,663	4,094	675	25,523	—	25,523
計	241,260	931,329	332,650	156,918	1,662,158	2,688	1,664,847
セグメント利益	60,342	325,120	86,607	42,227	514,298	2,259	516,557

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外部顧客へのブランド使用料等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	514,298
「その他」の区分の利益	2,259
セグメント間取引消去	6,676
のれんの償却額	△10,976
全社費用(注)	△262,366
四半期連結損益計算書の営業利益	249,890

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	WEB	モバイル	雑誌	データ サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	251,721	891,644	317,957	169,333	1,630,656	256	1,630,912
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14,596	2,626	3,910	50	21,183	—	21,183
計	266,317	894,271	321,867	169,383	1,651,839	256	1,652,095
セグメント利益 又は損失(△)	68,503	293,235	66,574	54,176	482,489	△166	482,322

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外部顧客へのブランド使用料等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	482,489
「その他」の区分の利益	△166
セグメント間取引消去	605
のれんの償却額	△11,682
全社費用（注）	△239,269
四半期連結損益計算書の営業利益	231,976

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。